

令和6年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立音戸小学校
(音戸中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画(指標)	+6.0	+5.0
令和8年度	-	-
令和7年度	-	-
令和6年度	+3.3	+12.6
令和5年度	-0.2	-2.5
令和4年度	+4.4	+3.8

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎・・・各学校 ◇・・・中学校区

科目	重点課題	改善の方策	検証
<p>国語</p> <p>本校 $\frac{71}{\%}$ 全国 $\frac{67.7}{\%}$ 県 $\frac{69}{\%}$</p>	<p>◎漢字を文章の中で正しく使うことに課題がある。(設問2三ア)【言葉の特徴や使い方に関する事項】(平均正答率28.6%)</p> <p>◎資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題がある。(設問1二(2))【話すこと・聞くこと】(平均正答率42.9%)</p> <p>◇話し合いの話題や展開、資料の内容を多面気多角的に考察し、自己の意見と比較関連付けて表現することに課題がある。</p>	<p>◎知識・技能を習得させるために毎日テストをしたり、キュビナを活用して言葉の使い方に慣れさせたりする。</p> <p>◎モデルを示して、相手や目的を意識させた「話す・聞く」の場面の経験を積ませる。(朝のスピーチ活用・総合的な学習の時間等)</p> <p>◇話す目的・内容を明確にし、資料や根拠を基に自分の考えをもたせ、相手の考えと比較関連付けながら話し合えるような場を様々な教育活動の中で設定する。</p>	<p>◎漢字のまとめテストの問題(全学年、2月)目標80%→結果79.7%</p> <p>◎全国学力(設問1二(2))の問題(5・6年、2月)目標70%→結果75%</p> <p>◇教職員アンケート 学期に2回以上話し合いの場を設ける目標100%→100%</p>
<p>算数</p> <p>本校 $\frac{76}{\%}$ 全国 $\frac{63.4}{\%}$ 県 $\frac{64}{\%}$</p>	<p>◎道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。(設問4(3))【変化と関係】(平均正答率0%)</p> <p>◎球の直径の長さや立方体の辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことに課題がある。(設問3(3))【図形】(平均正答率28.6%) 全国36.5%</p> <p>◇事柄が成り立つ理由を数学的に説明することに課題がある。</p>	<p>◎授業の中で、児童に説明をさせる活動を取り入れる。支援として、話形を示し、学習した用語を使って筋道立て手説明しているかを評価する。</p> <p>◎授業始めに算数用語や定義を確認し、知識を定着させる時間をとる。</p> <p>◎図形に関わる数学的活動を重視していく。</p> <p>◇発達段階に応じて話型や条件を示しながら数学的に表現する学習を行う。</p>	<p>◎標準学力調査(全学年)</p> <p>図形 目標全国平均+10%→結果-6.6%</p> <p>記述 目標全国平均+10%→結果+1.8%</p> <p>◇学年末テスト活用問題(記述式)目標80%→81.5%</p>

【来年度に向けて】

- ・引き続き、話し合う目的意識、相手意識を明確にした、必然性のある話し合いの場を設定し、いろいろな教育活動の中で比較・関連付けて児童同士が話し合いながら考えを深められるようにしていく。
- ・基礎学力の定着を目指し、ドリルタイムや個別学習の時間を充実させ、個に応じた指導を行えるような時間を確保する。
- ・特別支援教育の視点を取り入れた授業づくりを充実させ、誰もが「わかる」「できる」授業を目指して授業改善を行う。